

本講習は、文部科学省の「小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習の開発・実施事業」の委託を受けて実施する講習です。平成32年度小学校英語教科化に向けて、千葉県の小学校教員に対し、専科教員として英語を指導できるよう、中学校教諭二種免許状(外国語(英語))を取得するために必要な単位を修得させ、専門的能力の向上を図るものです。

なお、本講習は平成30年度までの事業として開設しているものです。今年度から新たに受講する場合、今年度中に免許を取得することはできませんので、ご承知おき願います。

千葉大学教育学部附属教員養成開発センター

小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習」実施要項

～「小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習の開発・実施事業」～

1.実施者

千葉大学教育学部附属教員養成開発センター

2.受講対象者

現在千葉県内の小学校に勤務している小学校教諭の免許状を有する教諭又は講師(非常勤を除く)で、小学校教員として３年間の実務経験を持ち、小学校英語教科化に向けた専門性向上を目指す方。

3.受講料

受講料は徴収しません。ただし、単位取得証明書等の郵送（レターパックプラス）に必要な費用は、受講者負担とします。また、テキスト・資料代が別途必要となる場合には、受講者負担とします。

4.受講申し込み期限

受講申し込み開始日は千葉大学教育学部ホームページ（http://www.education.chiba-u.jp）で確認してください。申し込み開始は、すべての講座共通です。締め切りは、**希望する講座のうち、最も早い開催日の1週間前（必着）**とします。(例：「教育相談の理論と方法」（7月28日・29日）と「英語学概説Ⅱ」（10月27日・28日）の2講座を受講される場合の締め切りは**7月21日(必着)**となります。)

5.受講可能な科目

受講科目数の制限はありません。ただし、H29年度千葉大学教育職員免許法認定講習「小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習」で単位を取得された科目と同一科目の受講はできません。

6.各科目の時間割

	09:00-9:20	09:20-10:50	10:50-11:00	11:00-12:30	12:30-13:30	13:30-15:00	15:00-15:10	15:10-16:40
1日目	受付	講義1	休憩	講義2	昼休憩	講義3	休憩	講義4
2日目	受付	講義5	休憩	講義6	昼休憩	講義7	休憩	講義8 又は成績審査(試験等)

7.単位の取得

各科目ともに、当該単位の課程として定められた授業時間の5分の4以上出席し、かつ、試験またはレポート等による成績審査に合格すれば1単位を認定します（教育職員免許法施行規則第38条）。

8.受講の流れ

申込開始日

一般：2018年7月17日(火)以降

優先受講※：2018年7月9日(月)~7月13日(金)

※当日消印有効。優先受講の方は、封筒に「優先受講」と明記してください。

8-1.受講の申し込み

申し込みは「郵送」のみです。以下の①～③の申込書等を取り揃え、「〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町1-33千葉大学教育学部附属教員養成開発センター　免許併有係」までお送りください。なお、募集期間については、次項８－２及び千葉大学教育学部HP（https://www.education.chiba-u.jp/approach/seminar#!/%23frame-558）に掲載いたしますので、ご確認ください。

①平成30年度千葉大学教育職員免許法認定講習「中学校二種免許状（外国語(英語)）」申込書（別添申込書様式1:裏には何も印刷しないで下さい。）

②平成30年度　千葉大学教育職員免許法認定講習「中学校二種免許状（外国語(英語)）」受講決定通知書兼受講票（別添申込書様式2:裏には何も印刷しないで下さい。）

③受講決定通知書兼受講票等送付用封筒(長形3号)…1枚(受講者の郵便番号・住所・氏名をご記入の上、**82円分の切手を貼付して下さい。**）

※申し込み書類における個人情報は、本事業の講習手続き及び修了手続きのためのみに利用するものであり、他の目的での利用及び第三者へ提供することはありません。

※申請書類に不備がある場合（必要書類の欠落・必要事項の未記入等）には、受理しませんのでご注意ください。

8-2.推薦者の申し込みについて

平成３０年度は、優先受講を実施します。千葉県・千葉市教育員会からの推薦受講者・一般受講者の募集期間について千葉大学教育学部HP（https://www.education.chiba-u.jp/approach/seminar#!/%23frame-558）で別途お知らせします。

8-3.受講許可証の受理

申し込み書の内容を確認しましたら、担当から「受講決定通知書兼受講票」をお送りいたします。**「受講決定通知書兼受講票」は講習当日必ずご持参いただき、受付にて提示してください。**

※受講許可は、原則先着順とします。各講座とも定員になり次第締め切ります。（情報は、千葉大学教育学部ＨＰに掲載いたします。）

8-4.講習の受講

指定の受付時間内に受付場所までお越しいただき、講習を受講してください。なお、**講座の初日には、単位修得証明書送付用の「レターパックプラス（赤色）※」**をご持参ください。

※●レターパックには、以下の3点をご記入ください。

記入する場所	記入する内容
①「ご依頼主」欄	①送付先の郵便番号②住所③氏名(ふりがな付)を記入
②「品名」欄	「書類」と記入
③「保管用シール」(シールは貼ったまま)	氏名を記入

※**●複数の講座を受講される方は、最初の講座の際にレターパックを1通お持ちください。**全講座分の証明書をまとめてお送りいたします。

8-5.単位修得証明書の受理

必要時間数を受講いただき、成績審査に合格した方にのみ、「単位修得証明書」を発行いたします。「単位修得証明書」は、提出された郵送用封筒（レターパックプラス）にてお送りいたします。なお発送期日は、すべての科目について、原則平成31年2月中旬を予定しています。

留意事項

講習の中止について

1. 要項発行時点で予期されていない電力使用の制限等により、会場の利用ができない等の事態が生じた場合には、開講できなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。この際には個別には通知せず、教育学部HP上にてお知らせいたしますので、定期的にHPをご覧いただくようお願いいたします。

2. 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の取り扱いについては、以下の通りといたします。

   A. 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴い、最寄り駅(JR西千葉駅、京成みどり台駅)を運行する全線の列車が運行停止となった場合→午前6時30分までに運行しない場合は、開講予定の講座を取りやめます。

   B. 台風等により、気象庁から千葉市に「暴風警報」（以下「警報」という。）が発令された場合。

      ア. 午前6時30分までに警報が解除されない場合→開講予定の講義を取りやめます。

      イ. ②授業の開始後、警報が発令された場合は→当日のその後の講義を取りやめます。

持ち物について

当日は、①受講決定通知書兼受講票(申し込み受付後、担当から送付されるもの)、②筆記用具をお持ちください。なお、お申し込みいただいた最初の講座の初日には、レターパックプラス(赤色)もご持参ください。

その他、講習で必要なものや諸連絡がある場合は千葉大学教育学部HP上でお知らせいたします。受講当日まで、定期的にご参照くださいますようお願いいたします。**個別の連絡はいたしかねますので、ご注意ください。**

受付について

全ての講習において、当日受付を設置いたします。受付場所は、各講習の行われる教室です。必ず受付にて受講決定通知書兼受講票をご提示ください。(受付場所が変更となった場合はHPでお知らせいたします。)

昼食について

昼食等は、各自ご持参ください。**また、弁当等のごみはお持ち帰りください。**

校内には大学生協があり、食堂・売店がありますが、土日祝日等は営業しておりません。詳しくは千葉大学生協HPをご覧ください。

駐車場について

駐車場が限られております。会場へは公共交通機関をご利用のうえ、ご来場ください。

受講辞退について

受講決定後、受講をキャンセルする場合には、辞退通知をご郵送ください。

※直前の場合はメールにてご連絡ください。メールの宛て先は　nintei15-17@chiba-u.jp です。

受講上特別な措置を希望する場合について

千葉大学では、身体に障害がある方、及び、怪我・病気により、講習受講上特別な配慮を必要とする方には、可能な限り支援させていただきたいと考えております。しかし、支援の内容によっては、準備のためにかなりの日数を要することや、残念ながら十分な支援ができない、ということも考えられます。

そのため、千葉大学では、お申し込み前にご相談いただき、担当講師や事務部門と協議のうえ、対応を決定することといたしました。

本講習の受講を希望する方で、障害(視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱等)その他の理由により受講上特別な措置を希望する方は、当該講習の2か月前までにメールまたは電話にて担当までお申し出ください。また、日常的に補聴器、松葉杖及び車椅子等を使用している方で希望する措置等があれば、お申し出ください。

なお、お申し出が遅くなった場合、また、支援内容や本学の設備によっては、ご希望に沿うことができないこともありますのでご了承ください。

＜担当＞
千葉大学教育学部附属教員養成開発センター
免許併有係
Tel:043-290-2695
Mail: nintei15-17@chiba-u.jp

免許状の取得や申請の条件に関わるご質問について

免許許状の申請や取得の条件等に関わるご質問については、本事業事務局では対応できません。所属校の管理職の方を通じて、千葉県教育庁教育振興部教職員課免許班にお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

その他

1. 千葉大学教育学部HP上でお知らせした内容は、周知したものとして取り扱いますので、くれぐれもHPを定期的にご確認ください。

2. 中学校教諭二種免許状を取得した場合、免許状更新講習の受講を延期することが可能です。ただし、**延期する際には申請が必要です。詳しくは、千葉県教育委員会のHP等で**

ご確認ください。（「教育職員免許法平成19年改正法附則第二条第四項」、「教育職員免許法平成20年改正試行規則附則第七条第二項第一号」）

3.　その他、本事業に関わるご不明の点は、043-290-2695までお問い合わせください。

開設科目

開設科目・定員・日程及び会場

講習は、**「教育学部」**2号館・4号館・5号館、**教員養成開発センター**、**「総合校舎」**7号館で行います。事前に地図でよく場所を確認した上でお越しください。(当日は道案内のために人員がさけません。ご不便をおかけしますが、どうかご協力ください。)

免許法に定める科目区分等(科目)	免許法に定める科目区分等(各科目に含める必要事項)	開設科目名	定員	日程	会場	備考(受講要件等)
教職課程及び指導法に関する科目	**各教科の指導法英語**	中学校英語科教育法II	80名	平成30年 8月21日(火) 8月22日(水)	教育学部 **5号館** 5101室	受講要件は特になし **5号館での開講です。**
教科に関する科目	**英米文学**	イギリスの民話I	80名	平成30年 9月29日(土) 9月30日(日)	教育学部 2号館 2207室	受講要件は特になし
教科に関する科目	**英語コミュニケーション**	英語コミュニケーションII	80名	平成30年 10月13日(土) 10月14日(日)	**総合校舎** G7-10	受講要件は特になし **総合校舎での開講です。**
教科に関する科目	**英語学**	英語学概説II	80名	平成30年 10月27日(土) 10月28日(日)	**総合校舎** G7-24	受講要件は特になし **総合校舎での開講です。**

免許法に定める科目区分等(科目)	免許法に定める科目区分等(各科目に含める必要事項)	開設科目名	定員	日程	会場	備考(受講要件等)
教科に関する科目	**異文化理解**	異文化理解II①	30名	平成30年 11月17日(土) 11月18日(日)	**総合校舎** G1-101	H29年度千葉大学教育職員免許法認定講習で「異文化理解I」の単位を済みであること。 **総合校舎での開講です。**
教科に関する科目	**異文化理解**	異文化理解II②	30名	平成30年 11月23日(金) 11月24日(土)	教育学部 2号館 2204室	H29年度千葉大学教育職員免許法認定講習で「異文化理解I」の単位を済みであること。
教科に関する科目	**異文化理解**	異文化理解III	80名	平成30年 8月4日(土) 8月5日(日)	教育学部 2号館 2111室	受講要件は特になし
教科に関する科目	**異文化理解**	異文化理解IV	80名	平成30年 9月1日(土) 9月2日(日)	教育学部 **4号館** 4105室	受講要件は特になし **4号館での開講です。**
教科に関する科目	**英米文学**	英米文学概論	80名	平成30年 9月15日(土) 9月16日(日)	教育学部 2号館 2111室	受講要件は特になし
生徒指導教育相談及び進路指導に関する科目	**教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論と方法**	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論と方法	80名	平成30年 7月28日(土) 7月29日(日)	教育学部 **4号館** 4105室	受講要件は特になし **4号館での開講です。**

開設科目概要

開設科目名	概要
中学校英語科教育法II	３人の教員が担当します。次期学習指導要領を踏まえ，小学校外国語と各学校段階の学びの接続と系統的指導について以下を扱います。 1）第二言語習得理論を踏まえた授業づくり 2）有機的に言語活動が結びついた単元計画の作成 3）小学校「外国語活動」と「外国語」の指導事例と方法 4）学習内容の繰り返しの指導と定着を図る中学校「外国語」との連携 5) 学習者の特性や個人差に応じた教材作成と選択 6) 学習者要因と教授法の特性を考慮した効果的な指導法 7) 学習到達目標 (Can-Do形式) の設定と多面的な測定・評価
イギリスの民話I	イギリスの民話を英語で読みながら、魔法昔話、形式譚、伝説といった民話の基本的な分類と、それぞれのジャンルの特徴をつかむ。マザーグースの詩として知られているナーサリー・ライムの中にも、形式譚の特徴を持つものや、なぞなぞ、俗信を含んだものがあり、いくつかを取り上げる。また、イギリスには妖精についてのさまざまな民話があるが、「妖精の妻」「お産の手伝い」など、日本の民話と共通する要素を持った話について、共通点や相違点を考察する。
英語コミュニケーションII	本講座では、「英語コミュニケーションI」の内容を概観しつつ、新しい素材や手法を紹介する。。本講座では、1.学習材の理論的背景、2.コミュニケーションにおける柔軟な対応、3.学習環境の整備及び学習方法の提示（ストーリー・テリング、創造的装飾、素材収集、新聞の活用）4.コミュニケーション技術について学修する。本講座へは、受講者個々の積極的な参加及び準備が期待される。単位認定にあたっては講義終了後、最終レポートの提出を求める。
英語学概説II	この授業は、英語や日本語をはじめとして、ことばが持つ様々な特徴について理解することを目的とする。本講座では英語学概説Iで扱った事項を踏まえ、ことばと社会の関係性、ことばと文化、ことばの獲得、ことばの脳内での処理、ことばの解釈、ことばと認知の関係性について概観する。
異文化理解II	本講座では、児童生徒の異文化状況下でのものの見方や行動、感情のありかたが成人のそれとどう異なるのか、彼らはどのように異文化を学習するのかなど、子どもの言語・思考の発達、アイデンティティ形成等の複合的関係について理論的側面から概説する。それら理論を背景に小学校段階での外国語教育で求められる異文化間教育の具体的な方法論を議論し、「異文化理解I」同様、留学生とのワークショップを通して教材モデルの作成を試みる。 本講座は、「異文化理解I」の講座内容を前提とする。
異文化理解III	本講座は、学校の国際化の現状と課題を知り、外国にルーツをもつ児童生徒への対応・受入体制等を学ぶことを通して、外国にルーツをもつ子や保護者に対して柔軟な対応ができる教師力を高めることを目的とする。本講座では、異文化理解をするとともに、外国にルーツをもつ児童生徒の受入体制、日本語指導の在り方、学習言語習得等に関する課題、地震などの天災による緊急的な対応のあり方等の危機管理についての課題のほか、コミュニケーションツールとしての小学校英語と中学校での英語学習への接続の課題等ついて考える。

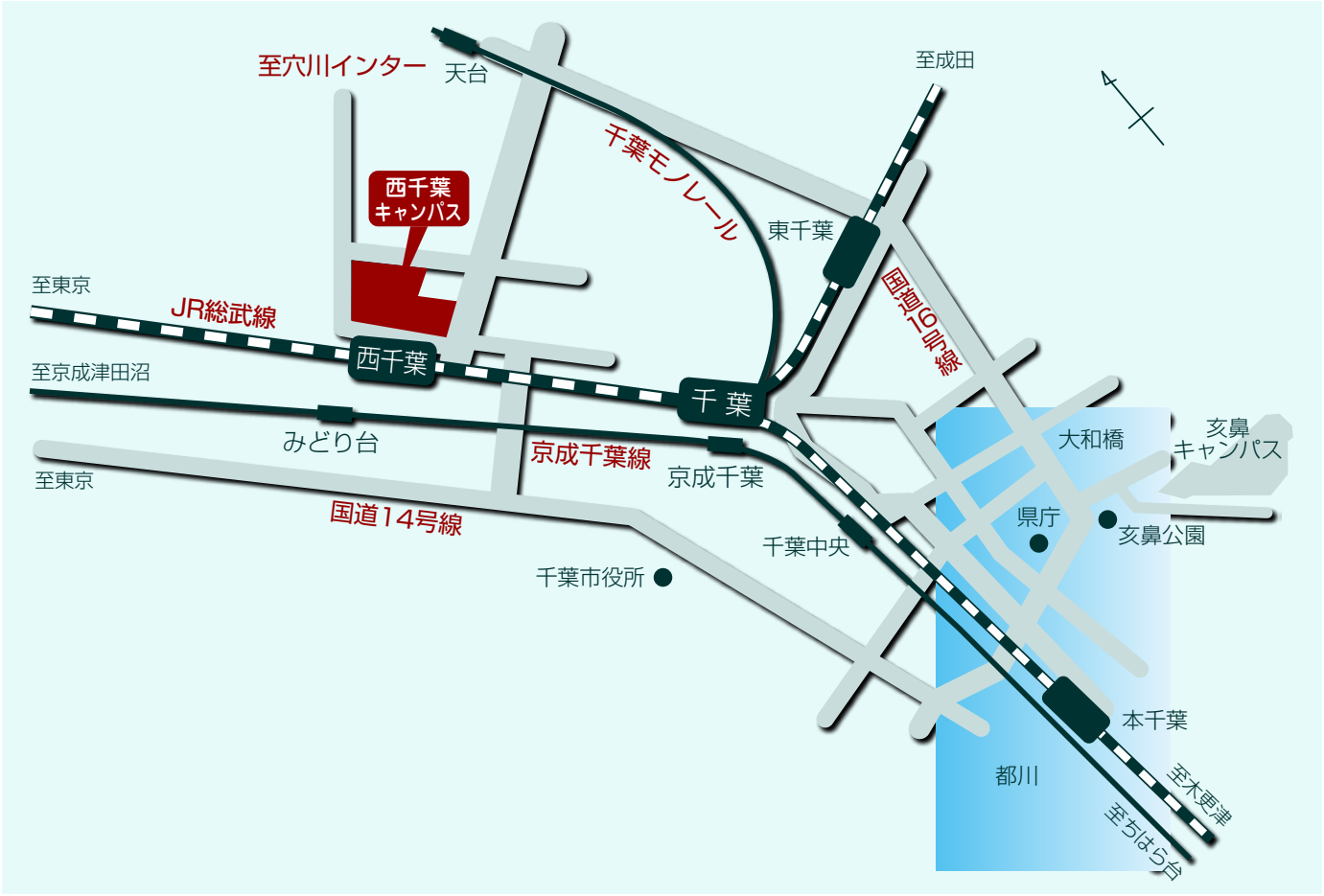
開設科目名	概要
異文化理解Ⅳ	本講座は、学校の国際化の現状と課題を知り、多文化共生に必要な「心の国際化」のために、道徳教育からの具体的なアプローチができる指導力向上を目的とする。 　本講座では、多文化共生時代の「心の国際化」について道徳教育の視点から検討する。「自国文化の理解」や「異文化理解」のほか、日本に住む外国人を素材とした教材の活用、ウェビングやランキング等、多様な指導方法の活用等、国際性を育てるための道徳教育の在り方を実際の実践例や模擬授業を通して考える。併せて、フィリピンでの道徳授業（Value Education）実践報告等を行う。
英米文学概論	本講座では、特にアメリカの文学作品を中心に現代的なテーマを扱った古典的作品とそれらから影響を受けて書かれた現代作品を読み、具体的に鑑賞する。将来的には原文で読めるようになることを目標に、適宜、原文の一部を配布し精読するので、受講者はある程度の英語力が必要である。
教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論と方法	児童生徒が必要としている援助レベルに応じて，３段階の援助サービスを提供するという学校心理学の考え方がある。一次的援助とはすべての児童生徒，二次的援助とは苦戦している一部の児童生徒，三次的援助とは，特別な教育的ニーズのある児童生徒に援助チームを組み対応していくことである。児童生徒の成長を促進することを目指す心理教育的援助(カウンセリング)の視点から生徒指導・教育相談・特別支援教育の協働について考える。

講師

開設科目	講師	所属等
中学校英語科教育法Ⅱ	西垣　知佳子 本田　勝久 物井　尚子	千葉大学教育学部　教授 千葉大学教育学部　教授 千葉大学教育学部　准教授
イギリスの民話Ⅰ	岩倉　千春	東邦大学非常勤講師 専修大学非常勤講師
英語コミュニケーションⅡ	ジム・エルウッド	明治大学総合数理学部　准教授
英語学概説Ⅱ	神谷　昇	千葉大学　非常勤講師
異文化理解Ⅱ	新倉　涼子	平成２９年４月千葉大学名誉教授　千葉大学高等教育研究機構グランドフェロー
異文化理解Ⅲ	土田　雄一	千葉大学教育学部教授
異文化理解Ⅳ	土田　雄一	千葉大学教育学部教授
英米文学概論	有馬　容子	敬愛大学国際学部教授
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論と方法	土屋　玲子	千葉大学　特任准教授

アクセス

交通アクセス



- JR西千葉駅より西千葉キャンパス南門まで徒歩約2分
- 京成みどり台駅より西千葉キャンパス正門まで徒歩約7分
- 千葉都市モノレール天台駅より北門まで徒歩約10分

キャンパスマップ



- JR西千葉駅より西千葉キャンパス南門まで徒歩約2分
- 京成みどり台駅より西千葉キャンパス正門まで徒歩約7分
- 千葉都市モノレール天台駅より北門まで徒歩約10分